

総合商社

JP1資産／配布管理

アシスト技術支援サービス

住友商事株式会社

■ 会社概要

設立年月日：1919年12月24日

資本金：2,193億円(2009年3月31日現在)

事業所数：国内26ヶ所、海外120ヶ所(65ヶ国)
(2009年4月1日現在)

従業員数：単独 5,148人(2009年4月1日現在)

連結 70,755人(2009年3月31日現在)

■ 事業概要

全世界に展開するグローバルネットワークと様々な産業分野における企業・消費者との信頼関係をベースに、多様な商品・サービスの国内販売、輸出入および三国間取引、さらには国内外における事業投資など、総合力を生かした多角的な事業活動を展開。



住友商事株式会社
IT企画推進部
基幹システム統括チームリーダー
新藤 雅之様(中央)

IT企画推進部 IT基盤統括チーム
アプリケーション基盤整備ラインリーダー
植田 徹史様(左)

住友情報システム株式会社
プラットフォームソリューション事業部門
ITエンジニアリング事業部
テクニカルソリューション部 部長付
東村 朗敏様(右)

IT資産のインベントリ情報を JP1で自動収集。 住友商事グループが利用する サーバ運用情報の可視化を実現

総

合商社「住友商事株式会社(以下、住友商事)」では、JP1によってグループの共通ITインフラサーバ構成情報を収集。IT資産情報を集約することで、運用情報の可視化を実現した。

プロジェクト背景

FOCUS'10における SIGMA高度化プロジェクト

住友商事のIT企画推進部はグループ全体のIT戦略を企画／立案するという重要な役割を担っている。1999年には、情報インフラを整備／構築するための「SIGMA21プロジェクト」を立ち上げ、800社におよぶグループ会社における「IT活用の最大化」へと取り組んできた。

さらに2009年からは、新たな10年を見据えた新中期経営計画「FOCUS'10(フォーカستن)」がスタート。「FOCUS'10では、新たなステージにおける成長シナリオを確立することにより、変化を成長につなげる価値創造企業を目指しています。迅速に新しいITサービスを提供できるインフラへとSIGMAシステムを発展させていくことは、住友商事グループ全体が競争力を向上させるために取り組まなければならない重要なテーマでした」(新藤氏)。そこでインフラの全体最適を実現し、SIGMAシステムを高度化させる取り組みを開始した。

*SIGMA21は、「Sumitomo corp. Information & Global Management systems Architecture for the 21st century」の略称です。

導入前の課題

- ・資産管理が属人化しており、情報が一元化されていない。
- ・契約単位で管理しているため、HW/SW単位の分析に時間がかかる。
- ・システムリソースの変更や余剰ライセンス活用など、運用状況の変化に即応できない。
- ・資産管理と構成管理で更新作業が2度発生していた。

業務課題

IT資産情報と構成情報を 一元管理するために

同社では、ルールやプロセスを標準化し、効率的で高品質なオペレーションを確立することによって、利便性の高いIT基盤を実現できると考えた。しかし、これまでは、IT資産情報と構成情報が一元的に管理されていなかったため、システム構成の変更に迅速かつ柔軟に対応するのは容易ではなかったと植田氏は説明する。

「IT資産はマニュアルベースで管理され、IT資産情報と構成情報が関係していなかったため、システムの変更や棚卸しの調査／分析に工数がかかっていました」(植田氏)。そこで、このような課題を解決し運用情報を可視化するため、新しいIT資産／構成管理システムが構築されることとなった。

「運用情報を可視化すれば、ポートフォリオとしてIT資産を管理できるようになります。その結果、ITサービスの提供を迅速化し、ビジネスの拡大を支えることができると同時に、最適な投資を行うための情報を正確かつ迅速に手に入れることができるようになります」(新藤氏)。

新しいIT資産／構成管理システムのポイントは以下の3つ。

(1)IT資産情報とシステム構成情報を一元的に管理できること。(2)IT資産を可視

導入後の効果

- ・IT資産と構成情報が一元管理できるようになった。
- ・資産情報の現状と履歴が迅速に分析できるようになった。
- ・リソースの活用と費用の割り掛が見直された。
- ・IT資産のポートフォリオ管理が実現された。
- ・最新の構成情報が自動収集されるようになった。
- ・システムの使用率を継続的に管理できるようになった。

化して、属人化を排除すること。(3)システム構成情報は、自動的に収集されるようにすること。

同社では、IT資産管理と構成情報管理をそれぞれ独立した形で整備することでデータを連携させ、システムの最適化を図った。

採用理由

マルチプラットフォーム対応とシンプルなデータ連携

構成情報管理システムを選択する際に重視したのは、「マルチプラットフォームへの対応」と「容易なデータ連携」であった。

「様々な種類のサーバを利用しているので、マルチプラットフォームに対応していることは必須であり、また、ソフトウェアのバージョンやインベントリ情報までは収集できる製品が必要と考えていました。

さらに、シンプルかつ標準的な仕組みでデータを連携できることを要件としました。特別な仕組みや制限があると、手間とコスト、そして導入までの時間が掛かってしまい、拡張性の低いシステムになってしまいます」(植田氏)。

この他にもサポート体制や費用といった点が考慮され、総合的な評価も高いアシストからの提案が採用されることとなった。

アシストが提案したのは、「IT構成情報の収集」「ソフトウェア配布」「クライアントセキュリティ対策」などを備えた「JP1/NETM/DM」と、JP1/NETM/DMで収集したIT構成情報を格納し、さらに自動採取できないような管理情報をあらかじめ登録し、統合的に管理するための製品「JP1/NETM/AIM」をベースとした構成情報管理システムである。

SIGMAシステムでは、JP1/NETM/DM

によって管理対象サーバのハードウェアやソフトウェアなどの構成情報が自動収集され、JP1/NETM/AIMによってデータ連携時に最適なデータ状態を保つための加工が行われている。

JP1を採用した理由について、SIGMAシステムの構築/運用を担当する住商情報システム株式会社の東村氏は4つのポイントを挙げた。

(1)JP1は幅広いサーバOSやアプリケーションに標準対応している。(2)CSV形式のデータを用いて構成情報管理システムへとインベントリ情報の受け渡しができるため、汎用性が高い。(3)アシストならJP1の導入実績が豊富で、標準では対応していないインベントリ情報へもカスタマイズ対応できる。(4)JP1のライセンス費用は他の製品と比べてリーズナブル。しかも、導入や保守だけでなく追加機能への対応などを含め、総合的にもコストパフォーマンスに優れていた。

アシストのサポート力とプロジェクトに対する協力体制によって、当初の予想よりも順調に進めることができたと説明する。

導入効果

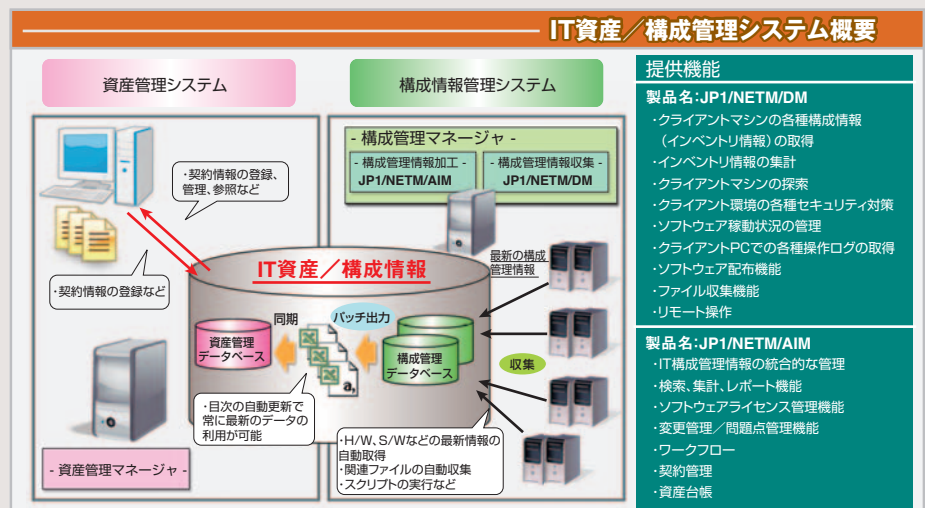
最新かつ正確な情報で分析が可能に

導入効果について植田氏は、狙い通りインベントリ情報を迅速かつ正確に収集できるようになったと評価している。

「インベントリ情報の収集が自動化され、最新のデータを元に情報を分析できるので、資産の統合、転用、リプレース、廃棄といった判断を的確かつ迅速に下せるようになりました。また人手を介することが無くなったので、コスト削減効果も大きいと感じています」(植田氏)。今後の課題は、IT資産管理/構成情報管理システムをどう横展開していくか。

「現状はSIGMAのサーバおよそ200台が情報収集の対象となっていますが、対象範囲を拡大していきたいと考えています。また、海外も含めた住友商事グループ全体をカバーできるようになれば理想的です」(新藤氏)。

IT資産をポートフォリオとして管理し、情報を正確かつ迅速に分析できる仕組みを取り入れたことで、SIGMAシステムは今後、高度化が加速していくことは間違いない。その仕組みをJP1が支えている。



株式会社アシスト

URL : <http://www.ashisuto.co.jp/> E-Mail : jp1_web@ashisuto.co.jp

製品URL: <http://www.ashisuto.co.jp/prod/jp1/>

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル
 札幌 〒060-0808 札幌市北区北8条西4-1-1 バストラルビルN8 5F
 仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア19F
 名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 円山ニッセイビル11F
 松本 〒390-0815 松本市深志1-4-25 松本フコク生命駅前ビル6F
 金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢8F

TEL: 03-5276-5565
 TEL: 011-746-8484
 TEL: 022-713-5802
 TEL: 052-232-8211
 TEL: 0263-39-1315
 TEL: 076-260-4921

大阪 〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル28F
 神戸 〒650-0035 神戸市中央区浪花町59 神戸朝日ビルディング22F
 広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル3F
 福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東-2-6-1 九勲建築通ビル9F
 沖縄 〒901-2131 浦添市牧港5-2-1 沖縄電力本店別館6F

TEL: 06-6373-7113
 TEL: 078-393-2115
 TEL: 082-224-6170
 TEL: 092-481-7156
 TEL: 098-942-5430